

あなたとぎかい



CONTENTS

今月の特集

高校生 to 市議会 vol.3

『佐原白楊高等学校』…… P2~P3

こんなことが決まりました／採決結果
…… P4~P5

ココがききたいQ&A…… P6~P17

活動レポート…… P18~P19

中学生議会／表彰／3月定例会日程
…… P20

香取神宮で雅楽を奉納した佐原白楊高校
聴講講座「地域伝統芸術」受講生徒の皆さん

- Q1 学校の魅力は? Q2 その科目を選んだ理由は? Q3 受講しての感想は? Q4 かつり自慢の逸品は?
Q5 18歳選挙権について Q6 市議会の活動内容を知ってる? 市議会へアドバイス!

第3回 佐原白楊高等学校



高校生 to 市議会

高校生の本音時間

Q & A

市内にある高校4校をシリーズでご紹介。高校生の本音に迫ります。第3回は、生徒一人一人の進路や興味に合わせて、学習科目を選ぶことのできる単位制を導入している県立佐原白楊高等学校を訪問。市民も共に学べる聴講講座の授業で、世代を超えて市民と楽しく学ぶ生徒の皆さんからお話を伺いました。

履修科目 エアロビクス

たかつか ゆうき
高塚佑樹さん(3年/扇島)

A1 生徒がみな明るく、思いやりがあるところです。/ A2 体を動かすことが好きで、エアロビは楽しく運動できるからです。/ A3 楽しく踊って、曲を体で表現するため、表現力が身に付きました。/ A4 うちが農家なのでお米! / A5 高校生の時から政治に関心を持てるようになりました。/ A6 市民の声を聞いて、市を良くするために活動していると思いますが、議員が学校などで直接話をしてくれると議会が身近なものになると思います。市の魅力を発信して、若者が市に残るようにしてほしいです。



将来の夢★自衛官

履修科目 エアロビクス

おおほり りお
大堀梨緒さん(3年/佐原口)

A1 先輩と後輩の仲が良いところです。/ A2 体を動かすことが好きで、文化祭で先輩たちのエアロビ発表を見て、楽しそうと思ったからです。/ A3 自ら考えて踊ることで自己表現の楽しさを学びました。/ A4 佐原の大祭! / A5 若い世代の意見が反映されて良いと思います。/ A6 以前、中学生議会に参加したことで、議員の活動がどのようなものなのかはわかりましたが、高校生を対象とした模擬議会をやることで、議員活動への理解が深まると思います。



将来の夢★看護師

履修科目 陶芸

さかい えりな
酒井衿奈さん(3年/下小堀)

A1 生徒と先生の仲が良いことから信頼関係が強い学校です。/ A2 小学生の時に陶芸を体験し楽しかったためです。/ A3 作品作りは一人の作業のため集中できます。物を作る喜びを感じられました。/ A4 栗源地区に母の実家があるため、さつまいも! / A5 多くの世代の意見が取り入れられ、よかったと思います。/ A6 市議会だよりに知り合いが登場していれば読むと思います。議員が学校へ来て、活動内容を教えてほしいです。



将来の夢★人のために役立つ人になりたい

履修科目 陶芸

かとう だいぢ
加藤大地さん(3年/長島)

A1 単位制で自分の好きな科目を選べるなど、自由度が高いところです。/ A2 陶芸を深く知りたいと思いました。/ A3 1日で作ることもありますが、何日もかけて大作にチャレンジするなど打ち込むことができ、集中力が高まりました。/ A4 歴史的な佐原の町並み! / A5 高校生という立場の自分たちも政治に関われるため良いと思います。/ A6 他市に魅力を感じ就職を機に市外へ出ますが、魅力ある香取に期待します。



将来の夢★消防士

履修科目 雅楽

きうち ゆうり
木内優李さん(3年/小見川)

A1 選択制の授業のためクラスメイト以外に友人が増えます。/ A2 他の学校にない珍しい科目であり、伝統の音楽に触れてみたいと思いました。/ A4 香取市ならではの景観である小江戸の町並み! / A5 自ら投票することで意見を伝えることができ、自分の意見が反映されると感じました。/ A6 中学生議会へ参加した経験から地域の問題や課題を扱っていると理解しています。市議会だよりは写真も多くなって読みやすくなったとは思いますが、高校生の認知度は低いので、情報発信にSNS等を活用しては。



将来の夢★音楽・情報関係

履修科目 雅楽

すずき ななか
鈴木菜々花さん(3年/成田市)

A1 自分のやりたい授業を選べ、いろいろな人と交流できます。/ A2 吹奏楽部なので音楽が好きです。珍しいため挑戦してみたかったためです。/ A4 佐原の大祭! 通学するようになって一番すごいいいと思いました。/ A5 若い人の意見が反映されるため、良いことだと思います。/ A6 こういった取材を機会に知っていきたく思います。自転車通学している際クラクションを鳴らされることがあるため、自転車専用道路の必要性を感じますが、それを伝える手段や、議会の活動内容など、出前講座等で情報提供を積極的にしてほしいです。



将来の夢★看護師

履修科目 中国語

いずみ ももか
泉百夏さん(3年/神栖市)

A1 単位制なので、自分の進路に合わせて学べるところです。/ A2 中国から来日されている方が多いので、中国語が話せれば困っている時などに助けられると思ったからです。/ A3 会話ができるよう発音を大切に学んでいます。/ A4 伊能忠敬とさつまいも! / A5 誰に投票していいのかかわからず、周りの意見に流されてしまう不安があります。/ A6 市議会だよりを読んだことがないので、高校生向けの議会広報誌を作れば議会をわかってもらえるきっかけになると思います。



将来の夢★人の役に立つ仕事に就きたい

履修科目 中国語

まつざわ しょうな
松沢翔名さん(3年/神栖市)

A1 単位制と駅から近いという立地条件です。/ A2 これからの生活の役に立てばと思い選びました。/ A3 コミュニケーションで使える中国語が身に付きます。/ A4 ロケ地にもなっている歴史的町並み! / A5 若い世代の投票率が下がっていたので、18歳に引き下げられたことで投票率が上がり、若い人の意見が取り入れられていくと思います。/ A6 公共施設の建設等を議論しているイメージ程度なので、議会としてイベントをやるなどのPRが必要だと思います。医師不足対策など地域医療の充実を望みます。



将来の夢★日本のみならず海外で渡り合える人

こんなことが決まりました!

平成29年12月定例会を11月27日から12月15日までの19日間にわたり開催しました。平成29年度補正予算、条例の制定および一部改正、工事請負契約締結などを審議しました。審議結果をピックアップしてご紹介します。



審議された議案

計 14 件
市長提出議案 13 件
議員発議案 1 件

12月定例会

○議案第6号
工事請負契約の締結について
(橘ふれあい公園(仮称)交流館建設工事(建築工事))

PICKUP ① 橘ふれあい公園 (仮称)交流館の建設 工事請負契約を 議決

一般競争入札を行った結果、5億8,536万円で落札されたので、工事請負契約の締結のため議決を求めています。

Q 対象となる補助金や合併特例債等の充当額が明確に算定・区分できるのか。

A 各年度の対象事業費の合計により、当該年度の補助金や起債額が決まりますが、按分による算定は可能です。また、補助対象事業費のうち起債対象となる経費には合併特例債を充当できますので、おおむね事業の全体がそれらの対象になると考えています。

意見

実際の市民負担額がわかりにくい状況である。事業費について、補助される額や市民が負担する額等の内訳をわかりやすく説明してもらえる機会を設けていただきたい。

議員別の採決結果一覧

○:賛成 ×:反対

※議長(眞本丈夫議員)は、採決に加わりません。 ※議案番号右の()は、審査を付託した委員会名です。 ※採決で賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案名等 ▼	審議結果	木内誠	宇井正一	根本 太左衛門	平松大建明	河野節子	林幸安	坂本洋子	伊藤友則	坂部勝義	伊能敏雄	眞本丈夫	高岡正剛	高山一夫	林信行	久保木宗一	高木寛	高木典六	鈴木聖二	田代一男	平野和伯	小野勝正	久保木清司
議案第5号(福祉教育) 香取市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号(—) 香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全会一致の議案等審査結果

※議案名は要約して掲載しています。

- 議案第1号・11号 一般会計補正予算
- 議案第2号 条例制定(歯と口腔の健康づくり)
- 議案第3号・4号・13号 条例改正
(放課後児童クラブ・水道事業・職員給与)
- 議案第6号 工事請負契約の締結(橘ふれあい公園建築工事)
- 議案第7号 市道路線の認定・廃止
- 発議案第1号 条例制定を求める意見書(土地埋立てによる土壌汚染防止)

全会一致で可決

議案名の詳細はホームページをご覧ください。

- 議案第8号~10号 専決処分
(一般会計・特別会計補正予算)

全会一致で承認

PICKUP ① 道路橋りょう費に 7,232万3千円を 追加計上

○議案第1号
平成29年度香取市一般会計補正予算(第5号)

大角地先の道路維持費などに2,251万円を追加したほか、橘ふれあい公園工事の設計見直しにより、道路新設改良費4,981万3千円を追加するものです。

Q 大角地先の市道補修は、破損の原因者に補修させるべきでは。

A この道路は大型車両の通行を規制していないことから、車両の特定は難しいと考えます。そのため、市の管理責任において補修しています。

討論

破損の原因者が特定される道路を市が補修することに住民感情として疑問は残るが、地域住民の生活道路の補修は必須と考え、市の負担で補修し、今後は事業者と費用負担について交渉しながら再発防止対策等も検討するとの答弁があったため、賛成する。

PICKUP ② 栗源児童クラブを 栗源小学校内に 移転

○議案第3号
香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

栗源児童クラブを栗源市民センターから栗源小学校敷地内に移転するため、位置の改正を行うものです。

Q 小学校と児童クラブの間にフェンスのような仕切りはあるのか。また、これまで屋外で遊ぶことはできなかったが、栗源小学校内の遊具は使用できるのか。

A 仕切りはなく、自由に行き来できます。遊具の使用は、学校側との協議が必要ですが、使用できるものと考えています。

ココがききたいQ&A

12月定例会では、12月6日(水)・7日(木)・8日(金)に、12人の議員が一般質問を行いました。ここでは、一般質問の内容を要約して掲載しています。

一刻も早い再生土処分場の規制条例の制定を

Q 市内における再生土処分場は、森林開発・太陽光発電所などを理由に増え続け、土壌・地下水汚染に対する懸念や道路破損などがひどいため、一刻も早く規制条例を作る必要性があるのでは。

A 条例の制定等を知事に直接お願いした経緯もあり、まずは県の動向を見たいと考えていますが、骨子案が示されたら県条例の規制方針を踏まえ、できるだけ早い対応をしたいと思えます。

Q 積載オーバーのダンプの走行により道路破損がひどく、自動車の損傷事故が相次いでいる。道路の修繕・自動車の物損修理は、事業者負担を求め、大型車両の規制を図るべきでは。

A 道路管理者の管理責任があることから、費用の負担は道路管理者と考えます。交通規制は、一般的に公安委員会の所掌となるため、禁止する必要性、影響等を検討した上で、必要と判断される場合は、香取



ういしょういち 宇井 正一議員

警察署と相談して対応することとなります。

Q 山田地区5小学校には、後世に伝える歴史的な資料・文書類が多数ある。廃棄せずに、保存・公開・研究のため「山田小学校資料館」開設の検討を。

A 廃校前に各校の間取りや調査を行い、残すべき資料の台帳作成が必要と考えます。関係機関と連携し、重要度に応じて、展示・保管・廃棄等に分類し、山田支所もしくは山田公民館等に展示し、公開できるように努めていきます。保管場所は、適したスペースを山田地区内で検討していきます。

Q 山田地区小学校の跡地活用は、地元住民の声を反映して検討すべき。

A 新たに山田小学校が開校した後、旧小学校の学区ごとに、区長、PTA、民生委員、児童委員および、まちづくり協議会等の代表などで組織する「跡地活用検討会議」を設置し、検討する予定です。

人口減少対策を次期総合計画の最重要課題に

Q 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策をしているが、移住、定住促進策の具体的な方法と成果は。

A 公共交通利便性向上の施策としての高速バスターミナル整備は、基本設計業務に着手したところです。地域医療の向上に関しては、抜本的な対策はまだとられていないため、施策の実施効果が発現できて



このせつこ 河野 節子議員

いない状況です。しかし、転出超過数は、平成27年度の285人に対し、平成28年度は195人と改善に向かっています。市民意識調査では、香取市に住み続けたいとの回答が64.6%となり、前回調査時より4.1ポイント上昇し、定住意識の向上から人口流出を押し下げた結果となっています。

Q 空き家バンク事業の成果は。

A 平成27年度から開始し、6件の物件を斡旋しました。移住者は、2世帯6人です。他の4件は、市内在住者の転居です。

Q 若い世代の就労、結婚、妊娠、出産、子育ての希望を実現するとしているが、その具体策と成果は。

A 市民意識調査結果から、子育て施策に対する満足度は、前回調査時より8.1ポイント改善し、おみがわこども園の開園や地域子育て支援センター事業、母子・父子福祉推進事業などの施策効果が出ていると考えています。平成23年度からは、独身



山田地区の埋め立て処分場

Q 東総有料道路の無料化の時期と延伸計画は。

A 平成30年4月に、30年の料金徴収が満了となることから、関係機関と無料開放に向けた協議が行われています。また、県に確認したところ、今のところ延伸計画は無いとのことでした。

男女の出会いの場の創出事業で、30組が成婚しています。平成27年度からは、結婚新生活支援補助金を創設し、これまで9組に交付しています。

Q 子育て支援包括センターの検討状況は。

A 平成29年7月に、福祉健康部内に検討会を立ち上げ、子育て世代包括支援センターの設置に向けた検討を始めました。

Q 産科誘致の実現性は。

A 誘致の予定はありません。

Q 市の基幹産業は農業。都会の生活に疲れ、自然豊かな田舎暮らしを望む若者を農業の後継者として、移住を進める方策を考えるとどうか。

A 新規就農者に対しては、農業次世代人材投資資金などの支援策が活用できます。新たに農業を志す人向けには、さまざまな支援策でバックアップしています。

Q 本腰を入れたプロジェクトチームを作って、支援策をまとめ積極的に都会に情報発信をしていくべき。都会への通勤圏として移住者に高速バスの定期券の補助はできないか。

A 移住者に対しての優位性施策は新婚者以外は行っていません。



高速バスターミナルの整備が予定されている佐原駅北口

**大災害発生時の
危機管理体制は大丈夫か**

Q 危機管理の主な範囲に、地震、風水害、火山災害等の大規模自然災害、航空機、海上、鉄道、道路、危険物等の重大事故、ハイジャック、大量殺りく型テロ、重要施設テロ、不審船等の重大事件、武力攻撃事態がある。常総市では鬼怒川の堤防決壊により大きな水害が起きた。そこで災害に対し、市の取り組んできた政策には、どのようなものがあるか。

A 市防災行政の根幹をなす「香取市地域防災計画」は、被害を最小化する減災の考えを基本に、命を守ることを最優先した対策を講じていることとしています。また、「香取市水防計画」を策定し、国・県、消防、その他の機関と連携を図り、河川氾濫を警戒・防御し、被害の最小化に取り組んでいます。平成29年2月には、潮来市、稲敷市、神栖市と大規模水害時における広域避難に関する協定を締結しました。これは、利根川および霞ヶ浦の氾濫に対して人命を最優先し、4市で連携した広域避難を可能とするものです。



いのう としお
伊能 敏雄 議員

Q 防災減災への取り組みは、どのように行われているか。近隣3市との広域避難連携協定を結ぶの実態は。



東日本大震災時に行われた自衛隊の給水支援（市役所）

A 河川流域の防災対策の強化と逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化という

目標に向け、ハザードマップの整備、継続的な水防訓練の実施等を含む水防体制の強化に取り組んでいます。広域避難連携協定締結後の協議事項は、情報伝達手段や避難情報等の伝達のタイミング、共同利用を可能とする避難場所の設定です。今後は、設定避難場所や避難経路の現地確認等を予定しています。また、訓練等の実施に向けて検討していきます。

Q Jアラートへの対応は。

A ホームページおよび広報かとり7月号で、対応要領をお知らせしました。また、対応要領を徹底するために、訓練が重要と考えています。

Q BCP（業務継続計画）をどう思うか。危機管理体制は。

A 香取市地域防災計画等で、おおむね必要な要素は網羅されていますが、今後は、訓練等を通じた検証を行い、より多くの業務が継続できる計画とするよう取り組んでいきます。

Q 防災士の育成と防災研修の実施は。専門の危機管理監を置くべきである。自主防災組織に防災士の有資格者を配置したいと考えています。今後は、防災士の育成や研修会の実施について工夫しながら進めていければと考えています。

**非核平和都市宣言を基に
平和行政の推進を**

Q 国連での核兵器禁止条約の採択と、NGOアイキャンのノーベル平和賞受賞をどう認識し、平和行政を進めるか。

A 外交や安全保障に関連する分野は国が担うものであり、その動向を見守っていききたいと思います。市としては、今後も戦争のない平和で安全な社会の実現に向け、取り組みを推進していきます。



さかもと ようこ
坂本 洋子 議員

Q 児童・生徒に広島、長崎の平和式典への参加を。

A まずは教育の場で平和についての教育を継続していくべきと思います。

Q 改定作業中の千葉県保健医療計画で、県立佐原病院のあり方の検討と耐震改修の進捗状況は。

A 県立佐原病院の担う役割は検討中とのことで、平成30年1月に開催される千葉県医療審議会に提出される千葉県保健医療計画試案で示される予定です。耐震改修は、耐震補強概略計画を策定中とのことで、平成30年度以降、実施設計を行い、可能な限り早期に改修を実施したいと考えています。

Q 「将来に渡って医師の確保」との県の回答を担保に医師の招聘を強く要望してほしい。医師数の現状と医師招聘の対策は。

A 平成29年11月1日現在の医師数は、4月から1人増の16人です。医師の招

Q 就学援助制度は、国の示す項目は全て支給を。

A 学校ごとに使用目的が異なる生徒会費とPTA会費は支給していませんが、近隣の動向を踏まえ検討していきます。

Q 給付型奨学金の創設を。

A 奨学金運営基金の財源問題もあり、現在、給付型の導入は考えていません。

Q 子どもの貧困は、将来にわたって連鎖するといわれている。解消のための生活支援、学習支援による「子ども食堂」「無料塾」などの対応策は。

A 子どもの貧困対策として、居場所づくりが必要であると認識しています。

Q 「高すぎて払いたくても払えない国保税」。保険税率、賦課方式の見直しで引き下げを強く求める。

A 安定した財源確保ができる保険税率を定めるため、賦課方式の見直しを含めて、県から示される国保事業費納付金額と他の自治体を参考に、検討を行っています。



毎年7月に実施されている原水爆禁止国民平和行進（市役所）

「初期集中支援チーム」で
認知症対策を加速

Q 急激な高齢化の進展による認知症の増加をどう捉えているか。

A 市では、平成37年度の人口を6万9,507人、高齢化率は38%と推計しています。住み慣れた地域で自分らしく暮らすために、認知症に関する知識の普及や情報を提供するとともに、関係機関と連携した相談体制の整備等、認知症支援対策の充実に取り組んでいきたいと考えています。

Q 「認知症初期集中支援チーム」の創設状況はどうか。

A 平成29年度中に設置予定です。

Q 認知症の人々が集い、思いを率直に語り合う「本人ミーティング」の開催が必要だと考えるが、見解はどうか。

A 現在、本人ミーティングは開催されていませんが、認知症カフェへの参加を勧め、話し合える場となるよう支援していきます。



たしろ かずお
田代 一男 議員

Q AED(自動体外式除細動器)の使用率が5%にとどまっていることをどう捉えているか。

A 公共施設や民間施設等、多くの場所に設置されてきていますが、現場付近に未設置だったという要因や使用に関する知識不足から使用をためらってしまうという



気軽に立ち寄れる認知症カフェ「くさかべカフェ」(くさかべホーム)

人が非常に多いという要因が考えられます。

Q AEDの使用法の周知はどうか。

A 佐原消防署および小見川消防署を会場に毎月第2日曜日に普通救命講習を行っており、年間1,000人を超える受講者がいます。また、小・中学校や事業所等での一般講習でも、年間1,200人が使用方法を含む救急講習を受けています。

Q AEDの設置個所をスマートフォンで検索できないか。

A 市ホームページから検索すると、設置場所が地図上に示されます。

Q 平成28年度、学校給食を無償化する自治体が61市町村に達している。学校給食の無償化の動きが広がっていることをどう捉えているか。

A 学校給食法および食育基本法の趣旨を踏まえて、食育への取り組み、その役割は重要であると考えています。また、少子化対策や子育て支援を推進する方策の一つと認識しています。

Q 経済的に困窮する家庭のために、学校給食を無償化できないか。

A 国の動向を注視するとともに、現在の就学援助制度の周知徹底に努めます。

城山公園・黒部川・
野田地区周辺の整備は

Q 城山公園は、県内有数の桜の名所であるが、噴水広場前の敷設タイルが破損している。桜の時期までに修繕できないか。

A 原因は、樹木の生長に伴う根上りです。凸凹を解消するには、大規模な工事となるため、現在、カラーコーンを設置し、利用者等への安全対策と注意喚起を行っています。



樹木の生長に伴う根上りで破損した小見川城山公園敷設タイル

状況に応じて、計画的な修繕・管理を行っていきます。

Q 小見川第2浄水場下の老朽化した桜とその木についてのスズメバチの巣の除去は。

A 現在のスズメバチの巣は原型をとどめず、スズメバチも確認できないこと、また、桜の木も枯れていないため、通常の公園管理計画の中で、必要に応じて対策を講じていきます。

Q 忠霊塔周辺の繁茂した木々の伐採は。

A 従来から地元遺族会が自主的に管理していると認識しています。遺族会担当課と協議し、対応を検討していきます。

Q 黒部川は、城山公園とともに、小見川地区のシンボルであり、市民の憩いの場である。しかし、近年、JR鉄橋から上流の桜の老朽化や雑草の繁茂で、周辺環境が悪化している。保全対策は。

A 黒部川は県香取土木事務所の管理であるため、災害時の管理用通路の確保、堤防異常等の早期発見のために除草していただいています。この辺りは、散歩などのコースとして多くの市民に親しまれていることから、関係機関、団体と連携を図りながら、適正な維持管理に努めます。

Q 野田松林寺前およびさくら館前と八日市場地先市道の排水対策は。

A 比較的平坦な市街地であるため、合併前からたびたび冠水被害がありました。大雨時でも黒部川、小堀川へ円滑に内水の排除が行えるようになりました。しかし、近年のゲリラ豪雨により被害が出ている現状を踏まえ、被害の軽減を図るために、冠水対策に取り組んでいます。

Q 香取神宮・津宮街道(又見地区)は、式年神幸祭および小江戸マラソンの経路である。破損しているガードレールの修繕は。

A 歩行者の安全確保という観点からも、要望があります。地元自治会長と相談の上、検討していきます。



整備が進む小野川沿いの上川岸小公園

**山田地区5小学校の
統廃合について**

Q 栗源地区小学校統廃合の際、廃校となった学校の歴史的資料はどのような措置をし、現在はどうなっているのか。

A 重要な歴史的資料等は栗源小学校に移管しています。旧沢小学校には、郷土資料室があり、民具などを保管しています。旧高萩小学校は、福祉施設となっているため、学校関係の資料は栗源小学校に移管



「証城寺の狸囃子」で有名な野口雨情の額（山倉小学校所蔵）



たかぎ てるろく
高木 典六 議員

しています。

Q 教育委員会は、廃校となる5小学校の資料等を確認する考えがあるのか。あるとすれば、調査の方法は。また、どのような人物が調査分類するのか。

A 資料の台帳を作成したいと考えています。廃校となる前に各学校へ当該小学校職員、山田郷土史研究会、教育委員会職員、市文化財保護審議会委員等が出向き、資料調査を実施したいと考えています。

Q 分類整理した資料は、どのように保管、整理するのか。また、展示施設開設の検討は。

A 保管場所は、山田地区内で最も適したスペースを確保したいと考えています。歴史的価値が高いものは、山田支所および山田公民館に展示し、山田地区の学校のあゆみが展示できるように努めていきます。

Q 平成30年度末までに、調査分類整理し、一覧表を作成完了できるか。

**観光客の駐車場整備と
大型飲食店の誘致を**

Q 東日本大震災から立ち直り、観光客数は徐々に増加しているが、滞在時間が短いといわれている。これは、駐車場不足



くぼ き そういち
久保木 宗一 議員

と大型観光バスの団体客の昼食場所が整っていないことが大きな原因。市は、観光客の増加実現のためにどのような施策を考えているのか。

A 関係団体との連携・協力で事業を推進し、滞在時間の延長等に取り組みんでいます。駐車場も十分とはいえない状況のため、増加する観光客の利便性向上の観点からも新たな駐車場の確保に向け、調査・検討しています。

Q 観光業者が予約できる大型バス駐車場が必要だが、現状の大型バス駐車場を予約可能にできないのか。

A 各駐車場に人員の配置が必要となりますので、今後、検討していきます。

Q 観光客の駐車場として、旧佐原学校給食センター跡地を活用しないのか。

A 庁内で組織している公有財産等の活用検討委員会で検討しているところです。

A 平成30年度中に台帳を作成します。

Q 通学路、通学方法について、スクールバスの運行基準はどうなっているのか。

A 通学時の安全確保と通学時間等の激変緩和を考慮し、通学距離が2km、通学時間が徒歩でおおむね30分以上の児童からスクールバスを利用できることとしました。

Q 山田児童クラブへバスは運行するのか。

A 児童の安全性を確保するためには、可能であれば車両による送迎が望ましいと考えています。

Q 山田小学校と中学校の行事が重なったとき、保護者の駐車場は。

A 日程が重ならないように調整していきます。駐車場は、山田支所および山田B&G海洋センターを考えています。

Q 廃校後の跡地の活用方法は。所管はどこか。

A 活用方法が決定するまでの間は、教育委員会が所管します。決定した場合は、教育財産の用途を廃止し、普通財産として財政課に移管して利活用することとなります。

Q 大型バスの団体客が昼食を取る場所が非常に少ない。大型バス対応の飲食店の誘致を考えては。

A 飲食店等の協力を得ながら連携を図り対応していきたいと考えています。また、団体客の対応が可能な事業者の誘致等も視野に入れ、利便性向上に努めます。

Q 重伝建地区の古い町並みの景観形成に資するであろう市が買収した小野川沿いの上川岸小公園の目的とその内容は。

A 目的は、①町並みの連続性の回復 ②訪れる人の滞留機会と回遊性の向上 ③賑わいの創出 ④町並みエリアに多様な事業者の参画を促すこととの4点です。公園内の建物は伝統的な建造物の建築様式に做った建物とし、さまざまな交流活動およびイベント等の開催が可能なスペースを設けます。また、小規模事業者の参入、利用を想定し、低廉な使用料で出店が可能となるよう、常設するチャレンジショップのブースを設けるなど、歴史的な味わいと雰囲気醸し出しながら、多目的な活動や活用が可能な施設として、整備を進めています。

宿泊施設・複合公共施設・橋ふれあい公園について



すずき せいじ 鈴木 聖二 議員

Q 優遇措置の条例制定や無償で提供する土地を1億3千万円で買入れる等、市の誘致体制は整ったが、ホテルの建設計画が進まないのはなぜか。

A 事業者によると、オリンピック開催に向けた建設需要の高まりにより、実設計や建設業者の選定が遅れているためとのこと。

Q 既存宿泊施設の稼働率調査の結果は、16事業者に調査をお願いし、14事業者から回答をいただきました。稼働率は、ビジネスホテル62%、旅館10%でした。

A 市内宿泊事業者が事業を続けるために、市はどのような支援を考えているか。

Q 市内宿泊事業者が事業を続けるために、市はどのような支援を考えているか。



旧清見屋跡地を活用する複合公共施設に設置される1階の「(仮称)佐原通り」内観イメージ図

Q 旧清見屋跡地を活用する複合施設に入る機能は、観光情報発信施設、子育て支援施設、図書館、公民館に値する施設、福祉関連施設、市民活動支援センターなどです。

Q 施設の建築面積、延床面積、階数、概算事業費は、

A 建築面積は1,853㎡、延床面積は6,400㎡、階数は4階建てで、概算事業費は約39億円です。

Q イベントを行う場所の真上の2階にある図書館の静粛性をどう確保するのか。

A 吹き抜けとなっている2階部分は、強化ガラスなどを巡らせて、遮音性を高めていきます。スピーカーなどの音響機器の使用を抑える等の施設運用を検討していきたいと考えています。

Q 橋ふれあい公園の(仮称)交流館建設費、パークゴルフ場整備費、公園全体の総事業費および関連道路の整備費は、

A (仮称)交流館建設費は、外構等を含め約8億4,000万円、パークゴルフ場整備費は、第1工区全体となりますが、用地取得費を含めて約6億3,000万円、公園全体の総事業費は約25億円、市道1-51号線の整備費は、約5億5,400万円を見込んでいます。

Q 市のパークゴルフ協会の登録者数および平成28年度からの増減は、

A 平成28年度末現在で229人、会員数は横ばいとのこと。

有害鳥獣対策について



くぼ せいじ 久保 清司 議員

Q 市は、有害鳥獣の捕獲に協力している猟友会をどのような位置づけで、どのように考えているのか。

A 有害鳥獣被害防止対策、有害鳥獣駆除事業を実施するために欠くことのできない団体パートナーと考えています。

Q わなにタヌキがかかった場合の対応は、

A 駆除する場合や保護する場合など状況により対応が異なりますので、環境安全課にご相談ください。

Q 市の有害鳥獣の種類は、また、地区の特徴は、

A 鳥類は、カラス、ムクドリ、カワウなど、獣類はイノシシ、ハクビシン、タヌキ、アライグマなどが対象鳥獣となっています。市街地を含む市内全域でカラス、ムクドリ、ハクビシン、タヌキが、河川付近ではカワウが見られます。また、近年急速に増えているイノシシは、東大戸地区の他、大倉地区で確認されている状況です。

Q 猟友会の高齢化により、捕獲活動が困難になる事が予想されるが、市としての対策・対応は、

A 猟友会の高齢化、後継者不足は全国的な問題で、市でも深刻な問題と受け止めています。このことから、平成28年度から狩猟免許取得に要する費用の一部を補助する制度を設け、猟友会員の増加、後継者の育成を図っています。平成28年度実績は2人ですが、更に多くの人に活動していただるように推進したいと考えています。

Q 市が猟友会に出している補助金は、近隣市町と比べると少額と聞いている。近隣市町に合わせる考えは、

A 有害鳥獣捕獲事業委託料は、毎年金額を上げていただいています。近隣市町の状況、実質的経費を踏まえて協議していきたいと考えています。



市の有害鳥獣駆除を担う猟友会メンバー

Q 市の有害鳥獣の捕獲計画は、また、捕獲実績数は、

A 平成28年度の捕獲計画は、イノシシ10頭、ハクビシン180頭、アライグマ

自主財源で改革した
奇跡の「やねだん」に学ぶ



おの かつまさ
小野 勝正 議員

Q 鹿児島県鹿屋市串良町柳谷地区(通称「やねだん」)は、人口3000人の集落だが行政に頼らない「まちおこし」で、人口減少を食い止め、ふるさと創生に成功した。自主財源を持つことが、地域創生の重要課題と考えるが。



行政に頼らないまちおこしに取り組む「やねだん」(鹿屋市柳谷地区)

A 住民自治協議会の認知度は高まっていますが、活動への参加者は一部に限られているため、さらなる住民同士の一体化の醸成や住民総参加の取り組みが必要です。この横のつながりが財源確保につながる組織への発展の礎となると考えています。

Q 「やねだん」では、負の遺産を資源に変え、地域の財源を確保した。少子高齢化、不耕作地、空き家対策の糸口になるのでは。

A 地域課題の解決には、よい先進事例となると考えています。

Q 持続可能な社会のキーワードは、「文化と子ども」である。住民自治活動の中に取り入れる方策を。

A 地域の伝統文化を継承していくことが地域の誇りとなり、愛郷心に繋がります。小学校行事の活性化を支援する取り組みが数多く見られています。

いじめ問題と
携帯電話について



いとう ともり
伊藤 友則 議員

Q 平成29年度に小・中学校から報告されたいじめの詳細ならびに対応・解決と判断するステップやプロセスは。

A 平成29年11月末日までの認知件数は7件で、内容は「ひやかしゃからかい、悪口を言われる」、発見は「保護者からの訴え」が最も多くなっています。認知後、事実関係を確認し、いじめを行った児童・生徒への指導後、いじめを受けた児童・生徒へ謝罪を行うとともに、双方の保護者に丁寧に説明し、今後の協力を依頼します。その後、児童・生徒の心のケアに努めるとともに「いじめが止んでいること」が3カ月以上続き、「心身の苦痛を感じていないこと」を児童・生徒および保護者に確認し、解決と判断しています。

Q 陰湿ないじめや金銭、物品恐喝の報告は。
A 平成29年度中の報告はありません。

Q 地域創生は一朝一夕ではできない。強い信念と情熱を持ったリーダーの育成の施策を。
A 若者や子育て世代などが市に住み続けたいと思えるような魅力あるまちづくりに向けた施策を積極的に推進し、市民協働によるまちづくりの理念のもと、地方創生を担う人材の確保に努めていきたいと考えています。

Q 埋め立て行為に規制の強化を。古内地区の埋め立ての規制はどうなっているか。
A 産業廃棄物の不法投棄が確認され、県が事業者に対し廃棄物の撤去を指導しましたが、撤去終了と認められないまま現在に至っています。現在、県と連携して、土砂の搬入禁止や法面の是正計画書の提出を求めるとともに、巡回パトロールを強化しています。

Q 長期にわたる不法投棄を中止させるには、強制的なダンプの立ち入り禁止が必要。
A 許可権者である県と連携を図りながら、事業者に対しては一刻も早く是正し、事業を終了するように強く指導していきます。

Q 携帯電話利用での睡眠不足、視力低下、身体への影響懸念は。また、自己被害(炎上、個人情報、過去写真)のトラブルについて何う。
A 各学校では、長時間利用の弊害の注には個別に指導し、生活習慣の改善を図っています。また、情報が拡散してしまうなどの被害が生じる危険について注意喚起をしています。情報モラル教育を一層推進し、被害の未然防止に努めていきます。

Q 携帯電話、SNS、LINE利用のいじめや仲間外れは。
A 書き込みサイトや無料通話アプリへ悪口を書き込み、SNS通信ゲームのグループに入れない等のいじめを認知しています。学校・教育委員会が連携し対応しました。

Q いじめ通報アプリを市予算で配布する自治体もある。市の今後の展開は。
A 導入した自治体や、平成29年11月に開設した市いじめメール相談の状況を踏まえ、必要に応じて検討していきます。

Q 携帯電話の利用における保護者管理の姿勢、家庭でのルール、フィルタリング活用は。
A 中学校の新生保護者説明会等で、保護者と

学校生活で悩んでいる小中学生・保護者の皆さんへ

ほっとダイヤル
☎0478-50-1288
に相談してみませんか。

不登校 いじめ 体罰 毎朝ハワ

学校生活について悩みをお持ちの方、お電話ください。また、何かお気づきの点がございましたらお電話をお待ちしています。

相談日・時間
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時00分

※夜間・土日・休日は、留守電で受け付けますが、通話料がかかります。
【問い合わせ先】
香取市教育委員会
学校教育課
(電話) 0478-50-1288



市議会議員

の活動レポート

「意見書」を提出

12月定例会において、発議案第1号「香取市土地の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の制定を求める意見書」を可決

現在、市は、再生土埋め立て処分場が県下で一番多い状況となっています。

処分場への積載オーバーダンプの無秩序な搬入が行われると、生活道路の破損や隣接地への倒木、冠水被害、フッ素の検出等により井戸水が飲料水として使用できない等の発生が危惧されています。

住民が健康で、安全かつ快適な生活を確立するため、市に意見書を提出しました。

議員研修会へ参加しました



▲政治ジャーナリスト角谷浩一氏の講演会

平成29年10月24日、千葉県北総地区市議会正副議長会主催の議員研修会が成田市内で開催されました。研修会では、政治ジャーナリストの角谷浩一氏による「政局の行方」をテーマとした講演が行われ、先般行われた衆議院議員選挙の結果を踏まえた今後の政局について、また、選挙権が18歳へ引き下げられてから初めてとなる衆議員選挙であったため、若者の政治志向などの解説があり、今後の議員活動の参考となる研修となりました。

総務企画常任委員会 行政視察



▲地域づくり事業の補助金について説明を受ける委員（真岡市）

平成29年11月、栃木県佐野市、栃木市、真岡市の行政視察を行いました。

佐野市議会では、タブレット端末導入後のメリットや議員への操作対応をはじめ、今後の課題としてWi-Fi環境の整備拡大や契約通信量超過後の対応等、議会のICT化の参考となる説明を受けました。

栃木市では、閉店後の百貨店を活用した市庁舎の整備について、設備の利用方法や効率的なメンテナンス等の説明を受け、既存施設の有効利用事例を視察しました。

真岡市では、活力ある地域づくり事業に対する補助金の効果について説明を受け、市が取り組むべき市民協働活動の参考となりました。

福祉教育常任委員会 行政視察



▲民家を改修した建物でサービスを提供している「このゆびと〜まれ」(富山市)

平成29年10月、富山県南砺市地域包括ケアセンターと富山市の富山型デイサービス施設「このゆびと〜まれ」の行政視察を行いました。

南砺市地域包括ケアセンターは、南砺市が目指す「共助・公助・自助」の連携と構築が推進されることを期待し開設された施設で、市においても地域包括ケアシステムの拠点づくりの参考となりました。

「このゆびと〜まれ」は、サービスの対象者を基本的には「誰でも」受け入れるデイサービスを運営しているNPO法人です。「サービスを提供している以上、全ての人に心地よく、この場でマイナス感情は持って帰ってほしくない」という理念で、利用者の立場にたった思いを強く感じました。

香取市の情報を全国へ発信

行政視察の受け入れを行っています

市議会では、全国の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れています。個性あふれる地域力を生かしたまちづくりや特色ある施策等の紹介をはじめ、市内宿泊施設や商店等を利用いただき、全国へ市の魅力を発信する活動を行っています。



▲防災ステーション(川の駅)の行政視察のため来訪した埼玉県吉川市議会議員の皆さん

●視察日	●議会名(委員会・会派)	●視察内容
H29 4月22日	北海道福島町議会	伊能忠敬北海道測量記念碑建設に係る調査・視察
7月 4日	秋田県能代市議会	クラインガルテン栗源について/歴史的町並みを活用した観光について
7月11日	新潟県胎内市議会	防災ステーション(川の駅)について
7月19日	愛媛県西予市議会	重要伝統的建造物群保存の取り組みと観光振興について
7月25日	大分県杵築市議会	重要伝統的建造物群保存の取り組みと観光振興について
8月23日	山武市議会	小・中学校統廃合の状況について
10月27日	埼玉県吉川市議会	防災ステーション(川の駅)について
11月 8日	京都府綾部市議会	太陽光発電事業について
11月16日	福島県喜多方市議会	友好都市表敬訪問
H30 1月11日	広島県呉市議会	伊能忠敬翁没後200年記念事業の手法について

平成29年度
行政視察
受け入れ状況
(平成30年2月1日現在)

生活経済建設常任委員会 行政視察



千葉県香取市議会 やねだん視察記念
平成29年11月9日

平成29年11月、鹿児島県鹿児島市観光農業公園「グリーンファーム」と鹿屋市柳谷地区(通称「やねだん」)の行政視察を行いました。

「グリーンファーム」は、鹿児島市が地域の雇用創出と地域振興のため設置しました。園内には、宿泊施設やさまざまな体験施設があり、現在、指定管理者の導入を検討しているとのことでした。

「やねだん」は、120世帯300人が生活する地域で、地区の自治公民館長豊重哲郎さんをリーダーに、自主財源を創出し、「行政に頼らないまちおこし」に取り組んでいます。市民協働を推進していく上で、強いリーダーシップを持ったリーダーの育成の重要性を感じました。

◀「やねだん」では視察受け入れ時に撮影した写真販売の収入も地域の自主財源の一部となっています。本委員もそれぞれ購入しました。



市議会をより詳しく知りたい時は

市議会会議録と議会中継をご利用ください!

議会だよりは、要約表記で掲載しているため、詳しくは市議会ホームページや会議録をご覧ください。



会議録

会議録は、市議会ホームページ「会議録検索」から閲覧できるほか、製本された会議録は次の場所で閲覧できます。

- 市役所1階の情報コーナー
- 市役所6階の議会事務局
- 佐原中央図書館
- 小見川図書館

12月定例会の会議録がご覧いただけるのは2月中旬になります。



議会中継

定例会・臨時会のライブ中継は、市議会ホームページおよび市役所で視聴できます。録画映像は、おおむね1週間後、市議会ホームページから視聴できます。

12月定例会のライブ中継視聴件数
延べ **987** 件

香取市議会ホームページ閲覧方法▶ 香取市議会で検索、もしくは香取市のホームページから市議会のページを選択
香取市ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/> 香取市議会ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

市政へ
提言!

中学生議会



平成29年10月25日、市内中学生28人が議員として参加した、中学生議会が市議会議場で開催されました。参加中学生議員のうち14人が、香取市をより住みやすいまちにするため、市に対し一般質問を行い、日頃、市議会がどのような役割を果たしているのかを模擬議会の体験から学びました。

功績をたたえ市民表彰

林信行議員が、議員在職12年以上にわたり地方自治の振興にご尽力された功績により、市民表彰を授与されました。(写真左)

林議員は、平成16年旧山田町議会議員に当選されてから、現在まで4期、常任委員長、特別委員長、副議長等を歴任し、平成28年2月から平成29年2月まで議長として市議会の運営に努められました。

表彰状は、平成29年11月6日に市長室において宇井市長から授与されました。



3月 市議会を傍聴しませんか?

定例会の日程

2/20日(火)	本会議
22日(木)	本会議
2/28日(水)	本会議
3/1日(木)	(一般質問調整日)
2日(金)	
3/5日(月)	予算審査
6日(火)	特別委員会
7日(水)	
8日(木)	常任委員会
9日(金)	
14日(木)	本会議

※上記は予定であり、変更となる場合があります。
※請願・陳情の3月定例会での受け付けは、2月8日(木)午後4時までとなります。

編集後記

vol.48

議会は、定例議会として年4回開催され、議会だよりもそれに合わせて発行されます。紙面が、現在の形となり、ちょうど1年の発行回数を迎えます。ご覧いただいている皆さま、いかがでしょうか。委員6人は、この広報誌を通じて議会の姿を皆さまにより分かりやすく、その動きをお伝えるため、日々努力しています。そして、議会だよりの届く日が、待ち遠しくなるような紙面づくりを心掛けていきます。

議会広報特別委員会(敏)

編集・発行に関し、ご意見・ご要望がありましたら、事務局までご連絡ください。